

## 報 告 書

2015年 8月 31日

望月厚司 様

議員名 佐藤成子

下記のとおり、政務活動費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	2015年8月21日（金）13:00～17:30	
2 視 察 先	(1) 都 市 名 視 察 先 施 設 等	NWEC 平成27年度 男女共同参画推進フォーラム ～一人ひとりの活動が社会を創る～ 独立行政法人 国立女性教育会館
	(2) 対 応 者	◆国連ウィメン日本協会理事長 有馬真喜子氏コーディネートのシンポジウム 「北京世界女性会議～あの時、今、そしてこれから」 ◆北京JAC世界女性会議・ロビイングネットワーク主催のワークショップ
3 目 的	北京の女性会議（1995年）から女性を取り巻く社会は、どれだけの変化がもたらされたか？その後の推進を妨げる課題・要因は何かを探る目的で参加する。	
4 内 容	<p>(調査事項・調査結果を具体的に)</p> <p>第4回世界女性会議・北京会議は、190か国の政府と3万人を超えるNGOが集う熱気あふれる大会であった。日本からも5000人を超える女性達が参加した会議だった。会議で採択された「行動綱領」では、女性と貧困など12の重大問題領域の下、ジェンダー平等のための課題が設定されました。あれから20年、、、。私たちは何を達成し、今なおどのような問題があるのでしょうかとのコーディネーターの発言に、林陽子 国連女性差別撤廃委員会委員長・坂東真理子 昭和女子大学理事長・船橋邦子 北京JAC代表・谷口真由美 大阪国際大学准教授等、それぞれの立場から比較検討され報告された。</p> <p>ワークショップ：若い世代と語り合う！：世代間対話、現代から北京行動綱領を読む①北京会議とは何だったのか②女性と健康について③女性に対する暴力について④支払われない労働について 順次話し合いがなされた。北京会議の意味⇒その後のジェンダー意識の高揚やしっかりと綱領として明記したことが後の各地の行動に結びついている。女性</p>	

	<p>と健康⇒優生保護法から母体保護法へ：リプロダクティブ・ヘルス・ライツ（産む産まないや何人産む、いつどのくらいの間隔で産むなどは、は個人的権利として選択できる・健康に関して最高の権利・性と生殖に関する健康と権利の確保）かつての墮胎罪などの歴史や宗教上から様々な問題も提起された。女性に対する暴力について⇒女性の権利は人権であるの考えの下、DV防止法・障害者虐待防止法・ストーカー行為規制法・児童虐待防止法・売春防止法・性暴力と刑法改正等々ここ15年くらいの間に種々の法整備が進んだ。支払われない労働⇒無補修労働とは、生産の分野では、農業、食品加工、家族企業で、再生産分野では、家庭での家事、子どもの保育、高齢者の介護等。地域では、環境保護や弱者の援助のボランティア等の活動を意味する。日本では、母親育児、在宅介護等家庭福祉政策が特徴。ジェンダー役割を固定化する傾向がある。（未だ強い男は仕事・女は家庭の認識）その結果女性の経済的自立が送れ、貧困を招いている。雇用や労働における差別が依然存在する。これらの歴史的背景を語り、若者の現在の姿の発表をし世代間のコミュニケーションを図った。</p>
<p>5 成果・市政への反映等</p>	<p>北京会議の成果は、実効性を持たせた行動綱領の策定だった事とその後の国内の女性政策に大きな影響を与えたことだ。つまり、女性政策のパラダイムの大きな転換が行われた。1996年の男女共同参画2000プラン・男女共同参画社会基本法の制定・内閣府男女共同参画局の設置・DV法の制定。各自治体での男女共同参画政策の展開に繋がり、女性センターの増加、窓口の設置、各自治体での行動計画の策定、条例制定などに表れていった。静岡市も、教育委員会に設置されていた青少年課の1つの係担当から、男女共同参画課となり、市長部局へ。行動計画や条例も制定された。社会慣習を変えていくのが一番厄介なこと、意識改革にこれらの法的な後ろ盾ができて、活動がしやすくなった。と言ってもまだ日本は、ジェンダーギャップ指数は、142か国中104位、政治への傘下も129位、経済分野も102位と先進国としては低い。今後の課題としてまとめられたのは、①女性の意思決定への参加が必要だ。政府は、「202030」2020年までにあらゆる分野の指導的立場に女性を30%入れるという考えだが、静岡市議会一つとってもまだまだ現状。クウオータ性のポジティブアクションが必要だの声もあるが、制度導入の前に、意識改革、実践が必要だと考える。女性議員を増やす活動をNPOとしてやっているが、、、。平和なくして平等なし、平等なくして平和なし。武力で平和はつukれない。②地球規模問題すべてにジェンダーの視点の主流化、導入が必要だ。③主体性のある市民と市民の繋がり、境界を越えての広範囲なネットワークの構築が必要だ。若い人達もしっかりと足元を見つつ、将来の展望をしている。静岡市でも意見を述べる、希望が持てる若者に会えた。人種や性別での物差しではなく、一人の人間として、人権の視点で課題解決に臨みたい。</p>

